

令和2年度 宮城県社会教育・公民館等職員研修会Ⅳ兼コミュニティづくり研修会Ⅱ
文部科学省事業 共に学び、生きる共生社会コンファレンス 東北ブロック 開催要項

- 1 本研修会テーマ 「共生社会をつくる」ということ
～障がいと共に生きる命を受けとめられる地域にむけて、私たちにできることとは～

2 本研修会の位置付けと経緯

(1) 宮城県社会教育・公民館等職員研修会について

本研修会はこれまで、年4回の研修会に、①社会教育の基本原則、②地域生涯学習の計画化、③学ぶ機会を持つことに困難を抱える人々へのアウトリーチ(社会的包摂)、④東日本大震災の経験をこれからの社会教育に生かす、の4つを柱とした学びを組み込むことで、市町村の社会教育関係職員の資質と実践力の向上を目指してきた。

今回の研修会は、そのうちの③と④に該当するものである。a)障がいと共に生きる人々やその家族の実態をめぐる東北大学教育学部学生有志の調査報告、b)学生の調査に協力いただいた障がい児・者の家族や関係機関の方々の話、c)障がいのある子もいない子も地域ぐるみで支えようと取り組む地縁組織の展開(きらりよしじまネットワーク)、d)障がい児を地域で支える取り組みの震災後に現れた新展開(奏海の杜)などを通して、社会教育が今後を目指すべき方向性とその可能性を確認することを目指す。

(2) 文部科学省「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」との連動について

文部科学省は平成30年の組織改編を機に、現代社会に欠落している重大問題である「障がい者の生涯学習」の機会の拡充を目的とした部門を新規に構築し、全国7ブロックで「共生社会コンファレンス」を展開している。このコンファレンスは、障がい者本人による学びの成果発表等や、学びの場づくりに関する好事例の共有、障がい者の生涯学習活動に関する研究協議等を行うことで、障がいのある者とならない者の交流による障がい理解の促進や、支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成、障がい者の学びの場の拡大を目指すものである。このコンファレンスの趣旨は、宮城県の本研修の4つの柱の③と重なることから、文科省との協議の上、令和2年度は両者を連動させて開催する運びとなった。

3 ねらい

- 一般に、障がい者を抱えた家族は、地域に迷惑を掛けたくないという思いや、差別感情への恐れから、できるだけその存在を地域に見せないようにしがちである。そのことを越えるべく、障がい児・者を受けとめられるよう、地域の力を高めようとする諸実践が地元(東北)で生まれていることに学びながら、その中で社会教育が重要な役割を果たしうることを学び合い、そのために何ができるかを、職員が市民とともに考え合う機会とする。
- 本研修会の研修づくりは、東北大学教育学部開講の「教育学実習」と連動させており、障がい児・者とその家族の実態をめぐる学生たちが調べてきた内容の報告を、プログラムの一部に組み込んでいる。研修づくりに学生の参画を位置付けることで、職員研修の域を越え、広く県民、ひいては若い世代に響く研修の質を目指す。

- 4 主催 宮城県教育委員会 宮城県公民館連絡協議会 文部科学省

- 5 日時 令和3年1月30日(土) 午前10時～午後4時
※開場：午前9時30分(9時50分までに入室ください)

- 6 開催方式 遠隔会議システム「Zoom」を活用したオンライン研修会
※インターネット環境とパソコン・タブレット等によりご参加いただけます。なお、インターネットへの接続料は自己負担となります。

7 対象

- (1) 教育機関 市町村教育委員会職員、公民館等社会教育関連施設職員、社会教育主事有資格者、特別支援教育関係者、都道府県教育委員会職員、障がい者の学習支援実践者(NPO等)、大学関係者、大学生等

- (2) 福祉機関 市町村職員（保健福祉部局職員等）、障害福祉関係者、福祉サービス事業所職員、社会福祉協議会職員等
- (3) 一般 障がいのある方や家族、障がい者の学びに関心のある方等

8 研修会調査報告者及び話題提供者等

- 調査報告者 東北大学教育学部 学生有志
- 話題提供者 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク 事務局長(山形県) 高橋 由和 氏
 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク事務局長 地域学校本部推進員 遠藤美喜子 氏
 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク福祉部会 事務局長 遠藤 京介 氏
 特定非営利活動法人 奏海の杜 代表理事 太齋 京子 氏
- コメンテーター 名取市手をつなぐ育成会の皆さん ほか
- コーディネーター 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山竜平 氏

9 日程及び内容

時間	内 容
9:30	開場（Zoom内に参加） ※9:50までにご入室下さい。
9:50	諸連絡（遠隔会議システム『Zoom』の操作説明，オンライン研修のルール，検討委員紹介）
10:00	(1) 開会行事 ①挨拶 文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室 障害者学習支援第一係長 井口啓太郎 ②諸連絡（本日の流れ）
10:10	(2) 趣旨説明 コーディネーター 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山竜平 氏
10:25	(3) 調査報告「障がいを抱えて生きるということ・障がいを抱えた家族と生きるということ」 調査報告者 東北大学教育学部 学生有志 コーディネーター 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山竜平 氏 コメンテーター 名取市手をつなぐ育成会の皆さん ほか
11:20	(4) グループワーク① ※自己紹介・役割分担に関する話合い ※調査報告の感想・質問に関する話合い
12:00	【昼食・休憩】 動画（「きらりよしじまネットワーク児童クラブきらり」「奏海の杜」）
13:00	(5) 話題提供Ⅰ「障がいをもち子どもたちも地域で支える」 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和 氏 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク事務局長 地域学校本部推進員 遠藤美喜子 氏 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク福祉部会 事務局長 遠藤 京介 氏
13:30	(6) グループワーク② ※話題提供Ⅰに関する話合い
13:50	【休憩】
14:00	(7) 話題提供Ⅱ「被災地で障がい児に向き合い続けて10年，そしてこれから」 特定非営利活動法人 奏海の杜 代表理事 太齋 京子 氏
14:30	(8) グループワーク③ ※話題提供Ⅱに関する話合い
14:50	【休憩】
15:00	(9) シンポジウム コーディネーター 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山竜平 氏 シンポジスト 特定非営利活動法人 奏海の杜 代表理事 太齋 京子 氏 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和 氏 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク事務局長 地域学校本部推進員 遠藤美喜子 氏 特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク福祉部会 事務局長 遠藤 京介 氏 東北大学教育学部 学生有志
15:30	(10) グループワーク④ ※本研修会で学んだことに関する振り返り
15:50	(11) 閉会行事 宮城県教育庁生涯学習課参事兼課長 嘉藤 俊雄
16:00	※諸連絡等

※当日の進行状況により，多少の変更が予想されますので，ご了承ください。

10 申込方法

【申込宛先】

・宮城県教育庁生涯学習課社会教育支援班宛て（担当：鎌田）
E-mail アドレス：syogaks@pref.miyagi.lg.jp

【件名】「1月30日コンファレンス申込み」とご記入ください。

<方法①> 県HP (<https://www.pref.miyagi.jp/site/syougaisingikai/kensyuukaiguidr2.html>) よりダウンロードできる「社会教育・公民館等職員研修会 IV（共生社会コンファレンス）申込用紙」（Excel データ）に必要事項を記入・添付し、メールにてお申し込みください。

※Excel データの保存名は、「所属_申込（代表）者氏名（ふりがな）」、一般参加の方は「申込（代表）者氏名（ふりがな）」としてください。

※PDF などにせず、Excel データで送信してください。

<方法②> メール本文に下記の内容を記入してお申し込みください。

1. 名前
2. ふりがな
3. 都道府県・市町村名
4. 所属・役職（所属などが無い方は「一般」）
5. 社会教育経験年数（社会教育の仕事に携わったことのある方のみ）
6. Zoom にサインインしているメールアドレス
7. 研修会当日の使用端末（パソコン・タブレット等）
8. 希望サテライトの【名称】（サテライト希望者のみ：下記参照）

<注意事項>

※申込みいただいたメールに案内メールをお送りします。

※1台の端末から複数名で参加される場合は、参加者全員の情報をご記入ください。

※サテライト会場を御利用される場合は、「8. 希望サテライト」欄に下記「12 サテライト会場について」の【名称】をご記入ください。

【申込締切】令和3年1月25日（月）正午まで

※研修会や事前 Zoom 練習会の案内メールが前日までに届かない場合は、宮城県教育庁生涯学習課社会教育支援班（022-211-3653）までお電話ください。

11 事前 Zoom 練習会について

Zoom を初めて体験される方を対象に、下記の日程と内容で接続確認等を行います。ご参加くださいますようお願いいたします。

【日程】 1回目： 令和3年1月21日（木） 午後3時30分～午後4時
2回目： 令和3年1月26日（火） 午後7時～午後7時30分

【内容】 ビデオ操作・ミュート方法・チャットの利用方法などを予定しています。

※事前 Zoom 練習会の詳細は、後日、申し込みメールへの返信でご連絡いたします。

12 サテライト会場について

(1) 多くの方に参加していただけるよう、サテライト会場を準備しました。サテライト会場にパソコン等を持参してのWi-Fi 利用や、プロジェクタ投影による大型スクリーンでの視聴ができます。

- ・【県庁】 宮城県行政庁舎 2階 第二入札室（仙台市青葉区本町三丁目8番1号）（40名程度）
- ・【大河原】 大河原教育事務所 401 会議室（柴田郡大河原町南129-1, 電話 0224 (53) 3111）（10名程度）
- ・【北部】 北部教育事務所 1階 大会議室（大崎市古川旭四丁目1-1, 電話 0229(87)3612）（20名程度）
- ・【東部】 東部教育事務所 会議室（石巻市あゆみ野5丁目7-番地, 電話 0225(95)7096）（15名程度）
- ・【気仙沼】 気仙沼教育事務所 1階 大会議室 B（気仙沼市赤岩杉の沢47-6, 電話 0226(24)2572）（10名程度）

※ご利用を希望される場合は、事前の申込用紙に記載いただくか、下記担当までご相談ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、利用できなくなる場合がございます。その場合は改めてメールでご連絡いたします。

(2)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下の内容を踏まえてご来場下さい。

①事前チェック

- ・平熱を超える発熱はない。
- ・咳・のどの痛みなど風邪の症状はない。
- ・嗅覚・味覚の異常はない。
- ・2週間以内に新型コロナウイルス感染症「陽性」とされた者との濃厚接触がない。

②研修会当日のお願い

- ・飛沫飛散防止対策として、マスクのご準備と着用してください。
- ・入口での検温、アルコール消毒にご協力ください。
- ・研修前後・休憩・昼食時間にも「3密（密接・密室・密集）」を避けてください。

③事後のお願い

- ・施設から問合せがあった場合に、お名前と連絡先の情報を提供することをご了承ください。
- ・会議後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者有無等を含め、主催者（宮城県教育庁生涯学習課社会教育支援班）にご連絡してください。

13 その他

- (1) 参加方法の詳細につきましては、事前に送付する案内メールをご確認の上、ご参加ください。
- (2) 障がいなどの理由により、支援の必要な方をご相談ください。
- (3) 本研修は、参加者相互の話し合いに参加していただく時間を位置づけております。
- (4) プログラムの関係上、午前10時から午後4時までの全日程のご参加を原則といたしますが、やむを得ず部分参加の方は、事前にご連絡ください。
- (5) Zoomのアプリは最新版への更新を必ずお願いします。
- (6) 同室内で複数のパソコン等から参加される場合、ハウリング等の音声トラブルを起こす可能性があるため、イヤホンマイクまたはヘッドセットのご利用を推奨します。
- (7) 今回お申込みいただいたメールアドレス等の個人情報については、本目的以外には使用いたしません。
- (8) 本研修会の録画・録音・撮影や資料等の無断配布やSNSでの無断配信は、個人情報保護法、著作権法に基づき謹んでいただきます。
- (9) 本研修会の様子を記録したり、取材等に活用したりすることがございます。撮影等をご遠慮いただきたい場合には、事前にご相談ください。

<問合せ> 宮城県教育庁生涯学習課社会教育支援班 鎌田 Tel:022-211-3653 E-mail: syogaks@pref.miyagi.lg.jp